



報道関係者各位
プレスリリース

2014年05月21日

株式会社キーストーンテクノロジー

キーストーンテクノロジーは日産自動車と横浜市が協働で運営する超小型モビリティ（チョイモビ）を活用し、野菜流通時のCO2排出量ゼロを目指した「食のスマートシティ化」の実証試験を開始。

株式会社キーストーンテクノロジー（神奈川県・横浜市/代表取締役社長 岡崎 聖一※以下キーストーンテクノロジー）は日産自動車株式会社と横浜市が協働で進める「チョイモビ ヨコハマ^{※1}」を活用し、自社植物工場で栽培した野菜を、流通させる実証試験を開始しました。

今回の取り組みは、日産自動車株式会社と横浜市とが進める「横浜スマートシティプロジェクト」という省エネルギー・低炭素環境配慮型都市の概念に、低環境負荷で持続可能な食物生産機能を有する「植物工場」を組み合わせ、世界初の「食のスマートシティ化」へ向けた試みとなります。

現在、農産物の多くは生産されてから消費者の食卓に並ぶまで、輸送に伴い大量のCO2が排出されています。環境負荷の観点では「フードマイレージ^{※2}」という概念が重視されており、植物工場は「消費地」に生産機能を持たせることで、輸送距離を短縮し“フードマイレージの極小化”を実現します。

本実証試験は、超小型モビリティ（電気自動車）の「チョイモビ」を活用することで、横浜市における野菜輸送時の“CO2排出ゼロ”を実現し、低環境負荷な野菜の生産から流通を目指した世界初の革新的な取り組みとなっています。

なお、本実証試験の概念図については、別紙のとおりです。

キーストーンテクノロジーは、持続可能なまちづくりを実現するために、世界に先駆け「食のスマートシティ化」を始めとするさまざまな活動に取り組んでまいります。

※1 フードマイレージ・・・生産地から食卓までの輸送距離を表しています。この値が小さい食料を食べた方が地球環境への負荷が少ないという仮説を前提として考え出されています。

※2 チョイモビ ヨコハマ・・・日産自動車株式会社の「日産ニューモビリティコンセプト（チョイモビ）」を活用した、ワンウェイ型大規模カーシェアリングです。

【次回の実証試験実施概要】

◇話題の植物工場！裏側を全部見せます！！～収穫からチョイモビを活用した納品まで～

日時：2014年5月30日（金）

13:00～14:00 植物工場での野菜の収穫

場所：「馬車道 LED 菜園（自社植物工場）」

〒231-0011 横浜市中区太田町 5-68-5 明和ビル 2F

14:00～15:00 チョイモビを活用した野菜流通の実証試験

- ・横濱老舗フレンチレストラン「霧笛楼」
- ・横濱発街中マルシェ「驛（うまや）テラス」 他 2 店舗程度を予定

お気軽にお越しくださいませ。



野菜導入店舗である元町「霧笛楼」へのチョイモビでの流通風景

※また、実証実験に関するメディア公開に際しましては日産自動車株式会社および横浜市による確認が必要となります。

ご了承の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社キーストンテクノロジー

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町 5-68-5 明和ビル 2 階

担当：大野

TEL：045-222-3117

FAX：045-222-3118

URL：<http://www.keystone-tech.co.jp/>

横浜市における野菜流通時のCO₂排出量ゼロを目指した「LED菜園による食のスマートシティ化」の実現

地方の「生産地」から
都市の「消費地」へ大量輸送



※ 横浜市中央卸売市場ガイド（H23年）記載値より算出した野菜輸送時のCO₂排出量

生産地→消費地への輸送
CO₂排出：260,700 t/年

植物工場は「生産地」を「消費地」の中にする



生産地→消費地への輸送
CO₂排出：ゼロ

